

# 02 | 数えられる名詞と数えられない名詞を覚えよう

数えることができる名詞の最後に s または es をつけると 2 つ以上をあらわす法則

例題 1 次の ( ) に適語を入れてください。

私はネコが好きです。  
I like ( ).

スライスして食べるものには s または es をつけず、丸ごと食べられるときは、s [es] をつける法則

例題 2 次の ( ) に適語を入れてください。

私はスイカが好きです。  
《ヒント》スイカ watermelon [ウォーターア メランヌ]  
I like ( ).

ニワトリは必ず肉として食べるので s をつけず、2 羽のニワトリならば s をつける法則

例題 3 次の ( ) に適語を入れてください。

私は私の農場では、10 羽のニワトリを飼っています。  
《ヒント》ニワトリ chicken [チキンヌ]  
I keep ten ( ) on my farm.  
私はニワトリの肉が好きです。  
I like ( ).

like の次に数えられない名詞、たとえば、野球、テニス、英語、音楽や液体のように数える必要がない英単語には s をつけなくてもよい法則

例題 4 次の ( ) に適語を入れてください。

私はミルクが好きです。  
I like ( ).

( ) ことができる名詞の最後に s または es をつけると ( ) 以上をあらわす法則

解答 例題 1

私はネコが好きです。  
I like (cats).

( ) して食べるものには ( ) または ( ) をつけず、( ) 食べられるときは、s [es] をつける法則

解答 例題 2

私はスイカが好きです。  
I like (watermelon).

ニワトリは必ず肉として食べるので ( ) をつけず、2 羽のニワトリならば ( ) をつける法則

解答 例題 3

私は私の農場では、10 羽のニワトリを飼っています。  
I keep ten (chickens) on my farm.

私はニワトリの肉が好きです。  
I like (chicken).



like の次に数えられない名詞、たとえば、野球、テニス、英語、音楽や ( ) のように数える必要がない英単語には ( ) をつけなくてもよい法則

解答 例題 4

私はミルクが好きです。  
I like (milk).

練習問題

[1] 次の名詞が数えられる名詞のときは○、数えられない名詞には×をつけてください。

- (1) ミルク (            )
- (2) 英語 (            )
- (3) テニス (            )
- (4) 音楽 (            )
- (5) ネコ (            )
- (6) 本 (            )



解答と解説

- (1) ×    (2) ×    (3) ×
  - (4) ×    (5) ○    (6) ○
- (1) から (4) は、

like の次に数えられない名詞、たとえば、野球、テニス、英語、音楽や液体のように、数える必要がない英単語には s をつけなくてもよい法則

を使って解きます。

[2] 次の (            ) に適語を入れてください。

- (1) 私はリンゴが好きです。  
I like (            ).
- (2) 私はスイカが好きです。  
I like (            ).
- (3) 私はフライドチキンが好きです。  
I like fried (            ).
- (4) 私は2羽のニワトリを飼っています。  
I have two (            ).

解答と解説

- (1) apples    (2) watermelon    (3) chicken    (4) chickens
- (1) と (2) は、

スライスして食べるものには、s または es をつけず、丸ごと食べられるときは、s [es] をつける法則

を使って解きます。

(3) と (4) は、

ニワトリは必ず肉として食べるので s をつけず、2羽のニワトリならば s をつける法則

を使って解きます。



ここが大切

数えられる名詞と数えられない名詞は次のように考えてください。

1. たまごを例にとると、  
1 個のたまごをイメージすると an egg  
液体のようになったたまごだと egg
2. かみの毛を例にとると、  
1 本のかみの毛をイメージすると a hair  
数える必要のないかみの毛は hair
3. レモンを例にとると、  
1 個をイメージすると a lemon  
スライスされたレモンをイメージすると lemon
4. ニワトリを例にとると、  
ニワトリをイメージすると a chicken  
スライスされたニワトリの肉は chicken

# 04 | be 動詞の使い方を覚えよう

日本語の主語の次に動詞がきていない場合、I am、You are、それ以外の1人なら is、2人以上なら are の法則

**例題 1** 次の( )に is、am、are の中から、1つ選んで書いてください。

私はいそがしい。 I ( ) busy.  
 あなたはいそがしい。 You ( ) busy.  
 私の父はいそがしい。 My father ( ) busy.  
 私たちはいそがしい。 We ( ) busy.

日本語を英文に言いかえるとき、動詞がないときは be 動詞を主語の次に置いて、動詞があるときは、主語の次に動詞を置く法則

**例題 2** 次の( )に適切な単語を入れてください。

私は歩く。 I ( ).  
 私は歩いています。 I ( ) walking.

日本語にウ段で終わる動詞があるときは、英文でも動作、状態が続く英語の動詞を使う法則

**例題 3** 次の( )に適語を入れてください。

私はあの少年を知っています。 I ( ) that boy.  
 私は車を1台もっています。 I ( ) a car.  
 私は走っています。 I ( ) running.

過去のことをあらわしたいときは、am と is を was、are を were にすればよい法則

**例題 4** 次の( )に適語を入れてください。

私はいそがしかった。 I ( ) busy.  
 あなたはいそがしかった。 You ( ) busy.  
 私たちはいそがしかった。 We ( ) busy.

日本語の主語の次に動詞がきていない場合、I ( )、You ( )、それ以外の1人なら ( )、2人以上なら ( ) の法則

**解答 例題 1**

私はいそがしい。 I (am) busy.  
 あなたはいそがしい。 You (are) busy.  
 私の父はいそがしい。 My father (is) busy.  
 私たちはいそがしい。 We (are) busy.



日本語を英文に言いかえるとき、( )がないときは ( ) 動詞を主語の次に置いて、( )があるときは、主語の次に ( ) を置く法則

**解答 例題 2**

私は歩く。 I (walk).  
 私は歩いています。 I (am) walking.

日本語に( )で終わる( )があるときは、英文でも動作、状態が続く英語の( )を使う法則

**解答 例題 3**

私はあの少年を知っています。 I (know) that boy.  
 私は車を1台もっています。 I (have) a car.  
 私は走っています。 I (am) running.

過去のことをあらわしたいときは、( )と( )を ( )、are を( ) にすればよい法則

**解答 例題 4**

私はいそがしかった。 I (was) busy.  
 あなたはいそがしかった。 You (were) busy.  
 私たちはいそがしかった。 We (were) busy.

練習問題

〔1〕次の( )に適当な be 動詞を入れてください。

- (1) 私はいそがしい。  
I ( ) busy.
- (2) 私はきのういそがしかった。  
I ( ) busy yesterday.
- (3) あなたは毎日いそがしい。  
You ( ) busy every day.
- (4) あなたはきのういそがしかった。  
You ( ) busy yesterday.
- (5) あなたと私はいそがしい。  
You and I ( ) busy.
- (6) 私の父はいそがしい。  
My father ( ) busy.
- (7) 私の兄弟たちはいそがしい。  
My brothers ( ) busy.

解答と解説

- (1) am (2) was (3) are (4) were
- (5) are (6) is (7) are
- (1) (3) (5) (6) (7)は、

主語の次に動詞がきていない場合、I am、You are、1人 is、2人以上 are の法則

を使えば解けます。

(2) (4)は、

過去のことをあらわしたいときは、am と is を was、are を were にすればよい法則

を使えば解けます。

〔2〕次の日本語を英語に直してください。

- (1) 私は酒井直美さんを知っています。  
( )
- (2) 私はイヌを1匹飼っています。  
( )
- (3) 私は毎日走ります。  
( )
- (4) トニーは走っています。〔一時的な状態〕  
( )

解答と解説

- (1) I know Sakai Naomi. (2) I have a dog.
- (3) I run every day. (4) Tony is running.
- (1)～(3)は、次の法則を使えば解けます。

日本文にウ段で終わる動詞があるときは、英文でも動作、状態が続く英語の動詞を使う法則

ここが大切

1. is、am、are の使い分けは、1人なら is、2人以上なら are がルール。  
I am、あなたは you are は例外です。  
was と were の区別の仕方は、w が過去をあらわします。  
w のあとには現在形によく似た単語で判断します。  
(例) are は were am + is = was
2. 動詞には、動作と状態があります。  
動作は体の一部が動くことです。  
動作が連続すると状態になります。  
動作をあらわす動詞に ing をつけると、状態をあらわす形容詞になります。  
このようなときは、be 動詞+～ ing であらわします。
3. 同じ動詞が動作と状態をあらわすときがあります。  
(例) 私は英語を話す。 I speak English. [習慣]  
英語を話しなさい。 Speak English. [動作]